

# 三重県鈴鹿市白子方言の待遇表現

佐藤 虎男

## I. はじめに

- ①調査対象地：一口に鈴鹿市方言ということができないので、白子町に限る。当地は伊勢湾沿いを南北に展開する町で、旧河芸(かづ)郡白子(しろこ)町の三大字(北から江島・白子・寺家)の中心である。近畿日本鉄道によって、名古屋方面や大阪方面への交通が早くから開けた。主な生業は商・農・工・漁業と多彩であるが、会社勤務の家庭も多く、日々の人の動きの範囲は広い。名古屋市はもはや完全に通勤圏内になっている。
- ②調査年月日：1997年4月21日
- ③話者(敬称略)：堀部定子 大正15年5月21日生(70歳)  
片野あや子 大正15年12月8日生(70歳)
- ④調査者・調査場所：佐藤虎男・話者堀部氏宅にて
- ⑤調査方法：調査表に基づく質問法。話者は二人とも筆者の小学校時代の同級生。4年前の比喩語の調査のおりの話者でもある。話者二人と筆者と三人だけの場席。待遇表現の種類が多様なので、いちいちの親疎、上下関係、品位などの認知や頻度・新古などを完璧に記述することは容易ではない。話者自身の中でも判定が揺れたり困難だったりするのである。調査者の郷土語でもあるので、こちらから持ち出しての確かめ聞きも適宜折り込んだ。いわば三人の共同研究である。
- ⑥その他：(1)音声記号の代わりにカタカナで表記した。  
(2)アクセントは、その高音部位を「」をもって示した。  
(3)被調査者の説明は( )で括り、調査者の注記は〈 〉で括った。  
(4)複数の回答がある場合、その掲出は回答の順序をできるだけ生かすようにした。(したがって事象の掲出順序は敬意度を意味するものではない。)ただし、整叙の都合上必ずしもそれに従わない場合もある。  
(5)複数回答を述べる場合、会話の文脈のうち待遇表現に直接関わらない部分は、最初の事象以外は重複を避けて省略に従った。

## II. 調査結果

### 1. 尊敬表現

#### 1-1 対者敬語

- (1) A お前は アンタ「ワ(多少の親疎の違いを越えて、これが普通。)  
元気かね オ「ゲ「ン「キ。／「ゲ「ン「キ。／(同じく親しい間柄であっ

ても、平素のことばづかひの比較的丁重な人、ざっくばらんの人など、むしろ話手側の条件によってこの二つのどちらかが選ばれるように思う。)

- B あなたは アンタサン「ワ／オタクサン「ワ (やや上品。)  
元気かね オ「ゲ「ンキデス「カ。(お元気ダスカは80代以上の人でないと  
言わない。／オタッシャデス「カ。(数いきく古老>の人に対して言う  
ことがある。)
- C あなたは (最上級の人に対して、「あなたは」に相当する代名詞は用いな  
いのが普通。相手がお医者さんなら「センセ」ーと呼ぶ。)  
元気かね オ「ゲ「ンキデゴ「ザイマス「カ。／オタッシャデ「ゴ「ザイマ  
ス「カ。(古風な感じ。)
- (2) A あしたは家にいるか 「アシタ「ワ 「イ「エニ ミ「エ「ル「ー。／「オ  
オ「ル「ー。(前者の方が上品。)/「オイデ「ル。(オルーより上。)
- B あしたは家にいるか ミエマ「ス。(盛ん。)/「オンナ「サ「ル。(上品  
で古風。)/「オッテ「デ「ス。(稀。丁重)/「オット「ク「ナ「サ「ル。  
《私のために居っておくれなさるか、あえて受惠の言い方にする点  
に特色がある。》／「ゴ「ザ「ル。(対者尊敬というこの条件下では言わ  
ないが、たとえばお嫁さんに「オーバーサン ゴザル?」のようには使うこ  
とがある。ただ、昔風な言い方でこんにちでは古老のことばだ。)
- C あしたは家におられますか オミエ「ニ「ナリマス「カ。／「ゴザイタクデ  
ゴザイマス「カ。(共通語的。)
- (3) A あした行くか 「アシタ イ「ク。／「イキナ「サ「ル。(より丁重。)
- B あした行きますか オイ「ナ「ル「ー。《Bの場面での事象の中では最も親  
しみのある言い方。》／「オイデ「ル。《前者よりやや上。》／「イキナ「  
ハ「ル。／「イキナ「サ「ル。(前者より格式のある言い方。)
- C あした行きますか 「アシタ イカレマ「ス。《書きことば的。》／「オイデ  
「ニ「ナリマ「ス。《共通語的。》／「オイキ「ニ「ナリマ「ス。《書きこ  
とば的。》
- (4) A 温泉に行かないか 「オンセン イ「カヘ「ン。／「イコマ「イカ。／「イ  
コ「ニー。(～マイカは何うような勧誘。～ニは無理に引っ張りこむよう  
な勧誘。)
- B 温泉に行かれませんか オイ「デ「ヤヘ「ン。(多用。)/「イキマショ「  
ニ。(女性的。)/「イキマショマ「イカ。(女性的で念入りな勧誘。)  
／「イキナ「サラヘ「ン。(丁重。)
- C 温泉に行かれませんか 「イカレマセン「カ。／「オイデ「ニ「ナリマセ「ン  
(より丁重。)

- (5) A しますか 「アシタ」 オ「バ」ーサン ナニ 「シナ」ハ「ル。／ナニ  
「シテ」デ「ス。(前者より近しい感じの表現。)
- B されますか 「ナサイマス」ノ。／「シナサン」ノ。(より近しい感じ)
- (6) A 見ましたか 「ミ」タ「ー。(最も親しい。)/「ミナッ」タ。《非完了形  
はミナル。》／「ミナ」シ「タ。(ミナッタより丁寧。)《～ナシタ・～  
ナシテという形しかなく、非完了形はない。》
- B 見ましたか 「ゴラン」ナリ「マ」シ「タ。(ひじょうに丁寧。)/ミラレ  
「マ」シ「タ。(書きことば的。)
- (7) A 昨夜は何時に寝ましたか ユー「ベ」ワ ナ「ン」ジニ 「ヤスマレマ」シ  
「タ。(Aの中では最も丁寧。)/「ネナッ」タ。／「ネナ」シ「タ。  
(ネナッタよりもちょっと丁寧。)
- B 昨夜は何時に寝ましたか オヤスミ「ニ」 ナリ「マ」シ「タ。(最上)  
／「ヤスマレマ」シ「タ。
- C 寝てください 「ネテクダサ」イ。(一般的な言い方。)/「ヤスンデクダ  
サ」イ。(上品な言い方。)/「ヨコニ」 ナッテ 「クダサ」イ。(柔  
らかな感じがする。)/「ヨコニ」 ナッテ 「チョ」ーダイ。(前者よ  
りはやや砕けた感じになる。)/「ネト」ク「ナ」ハレ。(看護婦などは  
言わないが、近所の人同士ならこう言う。)
- (8) A どこに行っているか(進行態・問いかけ) ド「コ」イ 「イキナン」ノ。  
(最も親しい間柄で。)/《この他に、もっとざっくりばらんにドコイキ?  
や、ドチラエ?などもある。》
- B どこに行っていますか(進行敬態) ド「コ」イ 「イキナ」サン「ノ。／  
「ドチラ」エ 「イカレマス」ノ。(畏まった感じ。)/《「どこへ」でな  
く「どちらへ」であることと連動している。》
- C どこに行っていますか(進行敬態) ドチ「ラ」エ オイキ「ニ」 ナリマ  
ス「ノ。(ひじょうに畏まった言い方。)/「ドチラ」エ オデカケデ「  
ゴザイマス」カ。
- (9) A どうぞ食べてくれ 「ド」ーゾ タベテ 「チョ」ーダイ。／「アガッテ  
チョーダ」イ(前者よりやや上品。)/タバ「テ」ー。(ごく親しい。)  
／「アガッ」テ。(前者よりは上。)/「チョ」ト 「ツマン」デ。《簡  
単なお菓子類を勧めるときによく言う。》
- B どうぞ食べてください タベ「ト」クナハレ。(私たちの年配から上の者は  
これが普通。)/「アガッ」クナハレ。(前者よりやや上。)/オアガ  
リ「ナシテ。(昔風。)
- C どうぞ食べてください オアガリ「クダサ」イ。(共通語的。)/「ド」ー

ゾ オアガリ「ナシテ。(昔からの言い方。)

- (10) A その写真を私に見せてくれないか 「チョ」ト 「カシテ」ヨ。(親密。)  
／「チョ」ト ミセ「テ。(盛ん。)/「チョ」ト ミセ「テ」ンカ。  
《形としては「見せてくれないか」によく対応するが、意味的には「見せて頂戴。」に近い。》／ミセテ 「ク」レヘ「ン。《前に同じ。》
- B 見せてくださいますか 「ソノ シャシン チョ」ト 「カシテイタダケマ」ス。／ミセテ 「モラエマセンヤ」ロカ。(昔風。)/ミセ「ト」クナハランカ。(稀。古風。私らの親たちがよく言った。)
- C 見せてくださいますか オカシ「ネガイタ」インデス「ワ。(共通語的)  
／ミセテ 「イタダケマセンヤ」ロカ。(いかにも丁寧なもの言い。)

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう 「オ」ルヤロ。／ミ「エ」ルヤロ。(丁重。)/  
オイ「デ」ルヤロ。(やや丁重。)/オイデン「ノ」ト 「チガ」ウー。  
《「いらっしゃるんじゃないかしら」に相当する。》／「ゴ」ザルヤロ「  
ー。(さほど近しくない友人の場合。稀。)
- B あしたは家に居るだろう オイ「デ」ルヤ「ロ。(よく言う。)/「ゴ」ザ  
ルヤ「ロ。(古風。)/オイ「ナ」ハルヤ「ロ。(かなり丁重。)/オイ  
「ナ」ルヤロ。(前者よりは近い。)/「オッテデス」ニ。(「オルヤ  
ロカ」と尋ねられて答えるときの言い方。《文末詞「ニ」は、推量の助  
辞なしに推量の実質を意味するときによく用いられる。》
- C あしたは家におられるでしょう オイ「デ」ルヤロ「ナ」ー。／「オンナ」  
サルヤロ「ナ」ー。／「オンナサルヤロマ」イカ。《ヤロですすでに推量の  
意味は出ているのであるが、さらにマイカがつく。マイカはこの場合、念  
を押して推量する文末詞と見てよいであろう。なお、以上の他にオラハル  
ヤロというものもある。》(ゴザルヤロはCの場面では適さない。)
- (12) A 居なかった 「オ」ラヘンダ。／「オラ」ンダ。(この二者は頻度大。)/  
オイ「デ」ヤヘンダ(やや尊敬した言い方。)
- B 居なかった オイ「デ」ーヘンダ。／オイデ「ヤ」ンダ。／「ゴザ」ラヘン  
ダ。(昔からの言い方。少ない。)/ミエ「ヤ」ンダ。(B場面での敬意  
としてはこれが一番高い。)
- C 居なかった オ「ル」スヤッタ。(多用。)/ミエ「ヤ」ンダ。
- (13) A そう言った 「ソー ユーテヤッ」タ「ニ。《言っておられたよ。》／「ソ  
ー イーナッ」タ「ニ。《そう言われたよ。》／「イーナシ」タ「ニ。(  
イーナッタより上。)/「ユウハッ」タ「ニ。(老人風の言い方。)/「  
ユートッ」タ「ニ。(一番敬意低い。)

B そう言った 「イーナ」シタ。(上品。)/「ユーテ」ミ「エ」タ。《言っておられた。》

(14) ※この質問の文言の意図するところを次のように理解する。

「親しい友人に、「(別の友人が)今そこに行っていた」と(あなたが)話すとき、どのように言いますか。」A・B・Cいずれでもある。

A 今そこに行っていた 「イ」マ」ソコニ 「イット」ッ」タ。/「イッテ」ヤ」ッ」タ。(敬愛の気持ち。)

B 今そこに行っておられた 「イッテ」オイ」デ」タ。《昔からの言い方で、待遇の対象が土地のお年寄りである場合に適する。》/「イッテ」ミ「エ」タ。《新しい感じの表現で、敬意が高い。》/「イッテ」ゴ」ザ」ッタ《古風な言い方。どちらかという老年男性に多い。》/「イッテ」ヤ」ッ」タ。《敬愛。》/「イッテ」オイ」ナ」ッ」タ。《イッテオイデタに近い。》

※この五事象の敬意度についての話者の認識にはほとんど区別がない。《 》で示したのは調査者の認識をかりに補ったものである。

C 今そこに行っておられた 「イッテ」オイ」デ」タ。《Bに同じ。》/「イッテ」ミ「エ」タ。《Bに同じ。》/「イッテ」ゴ」ザ」ッタ《Bに同じ。》/「イッテ」ヤ」ッ」タ。《敬愛。》/「イッテ」オイ」ナ」ッ」タ。《Bに同じ。》

(15) A 友達が来ている 「キテ」クレ」トル。《来ているという事実を、わがためにそうしてくれていると受け止める、この発想がよく根づいている。話者の一人はキトルと言えなくもないが、それでは失礼だと思うという。》/「キテ」モラ」ット」トル。《これも同じような受惠の発想法。こちらから頼んだのではなくても、あたかも頼んで来てもらったように言うのである。》

B 来ている 「キテ」ミ「エ」トル。(一番上品な尊敬。)/「キト」イ」デル。《来ておいでる。昔からの言い方。》/オイ」デ」ト」トル。《頻度小。》/「キテ」ヤ。《Cの場面としては一番親近感がある。》

C 来ている 「キテ」モロ」テマ」ス。/「キテ」イ」タ」ダイ」テオ」リマ」ス」ワ。(最も丁重。)

(16) A 仕事をしている 「シ」ゴ」ト」シ」テ」ミ「エ」トル。(上品な敬語。)/「シ」ト」イ」ナ」サル。(格式ある敬語。)/「シ」テ」ヤ。(親近感。)/「シ」ト」イ」ナル。(シトイナサルよりは少し落ちる。)/「シ」テ」デ」ス」。(シテヤより丁重。)/「シ」テ」ゴ」ザ」ル。(とも言うが、今はあまり言わない)/「シ」テ」モ」ロ」ト」トル」ワ。(このようにも言うことがある。)

B 仕事をしている 「シ」ゴ」ト」シ」テ」ミ「エ」トル。(上品な敬語。)/「シ」ト」イ」ナ」サル。(格式ある敬語。)/「シ」ト」イ」ナル。(シトイナサルよ

りは少し落ちる。) / 「シテデス」ニ。(シテヤより丁重。) / 「シテゴ  
 「ザル。(とも言うが、今はあまり言わない) / 「シテモロト」ル「ワ。  
 (このようにも言うことがある。) 《柔らかみのある敬語。》

- (17) A 見せてもらった ミセテ「モ」ータ。(ミシテモータとも。) 《モータはモ  
 ロタの転化。ミセテのところはまた、ミヘテとなることもある。》  
 B 見せてもらった ミセテ「モ」ータ。(土地の年長の人からであっても、友  
 人を相手に話すのならこう言う。) / ミセテ「イタダ」イタ。(たとえば  
 恩師から貰ったというような時には、こう言う。)  
 C 見せてもらった ミセテ「モ」ータ。(土地の目上の人からであっても、友  
 人を相手に話すのならこう言う。) / ミセテ「イタダ」イタ。(たとえば  
 恩師から貰ったというような時には、こう言う。)
- (18) A 見せてくれた ミセテ「ク」レタ。(多用。) / ミセテ「モ」ロタ。《クレ  
 タとモロタでは動作の主体が違うが、恩恵の到り届く先は両者とも同じで  
 あるから、こういう回答になるのであろう。》  
 B 見せてくれた ミセテ「クダサッ」タ。(これが普通。) / ミセテ「モ」ー  
 タ。  
 C 見せてくれた Bに同じ。
- (19) A 私にくださった オク「ナ」シタ(昔からの言い方でよい方。) / オク「ナ  
 ッ」タ。(前者よりやや下。) / 「クダサッ」タ。(共通語的。)  
 B 私にくださった Bに同じ。
- (20) A いただいた 「トナリノ」 オ「バ」ーサンカラ 「モ」ロタンヤ「ワ。 /  
 「イタダ」イタ。(丁重に言うとき。)  
 B いただいた Bに同じ。

## 2. 謙譲表現

### 2-1. 謙譲表現

- (21) A 私も ワタ「シ」モ 《「ウ」チモもまれに言うことがある。》  
 B 私も ワタ「シ」モ  
 C 私も ワタ「シ」モ
- (22) A 十分に食べました ジュー「ブ」ン イ「タダキマ」シタ。 / ジュー「ブ」  
 ン 「ゴツツォーサン」 ナリ「マ」シタ。  
 B 十分に食べました Aに同じ。
- (23) A 持ちましょう モチマショ「カ。 / モツタゲ「ル」ワ。(ごく心安い人に対  
 して。) / モタシテ「モライマス」ワ。(ごく丁重。)  
 B 持ちましょう オモチ「シマショ」カ。(最も丁重。) / モタシテ「モライ

マス「ワ。／モッタゲマシヨ「カ。（ごく親しい間ならこうも言う。）

- (24) A 待たせたね マッテモーテ ワル「カッ「タ「ナ「ー。／ゴ「メ「ン「ナー  
ワル「カッ「タ「ワー。
- B お待たせしました オマタセ「シマ「シタ。（共通語的。）／「ナ「ガイコ  
ト マッテ「モーテ「 スンマ「セ「ンダ「ワー。《ここにもまた受惠の  
表現が認められる。》
- C お待たせしました Bに同じ。
- (25) A 駅で待っているよ 「エ「キデ マッ「ト「ルワ「ナ。／「エ「キデ マッ  
「ト「ルン「ナ。《文尾のシナは文末詞ニナである。》
- B 駅で待っていますよ マッテマスデ「ナ。
- C 駅で待っていますよ オマチ「シテマス「デ。／マタシテ「モライマス「デ  
《前者より方言的な表現。》
- (26) A 言ってくれ ス「グ カエッテ「クルデ「ナ「ー。「ソヤッテ ユートイテ  
ク「レヘ「ン。（ごく親しい友人に。）／スンマ「セン。オ「ウ「チ 「  
カ「エッタラ ワタシ 「ス「グ 「カエルデッ「テ チョト ツ「タエ  
テク「レヘ「ン。（前者より丁寧な表現。）《これには夫のことが表面に  
に出ていない。それを出す場合は次のようになる。》／ワタシ 「チョッ  
「ト 「オクレルデ ウ「チノニ チョット 「ユーテク「レヘ「ン。
- B 言ってくれ ワタシ 「ス「グ 「カエリマス「カラ オ「ト「ーサンニ  
「チョ「ト 「オクレルケ「ド 「ソノヨ「ーニ 「ツタエテオイテモラ  
エマセ「ン。
- C 言ってくれ スンマセ「ン。「コンナ コ「ト オネガイ「シ「テ 「ド「  
ーカ 「ワカリマセンケ「ド ワタシ 「チョッ「ト 「オクレマスデ「  
オツイデー「ガ「 アリ「マ「シタラ 「チョッ「ト 「ツタエテイタダ  
ケマセンデスヤ「ロカー。
- (27) A これをやろう 「コレ アゲヨ。／「コレ アゲル「ワ。／「コレ モラッ  
テクレ「ルー。（遠慮がちな言い方。）／「コレ モッテッ「テー。（婉  
曲な表現。）
- B これをあげましょう 「コレ ドーデ「スー。（これであげましょうの意味  
になる。）／「コレ「 モッテッ「テー。／「コレ モロト「ク「ナ「サ  
「ル。（最も丁寧。）
- C これをあげましょう 「コレ ド「ー「ゾ。／「コレ ド「ーデ「ス。「ヨ  
ロシ「カッ「タ「ラ 「ド「ー「ゾ。／「コレ モロト「ク「ナ「サ「ル。

## 2-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった 「コータッ「タ。（コーテヤッタとも言う。）

- B 買ってやった 「コーテヤリマ」シタ。  
 C 買ってやった 「コーテヤリマ」シタ。
- (29) A 主人はもう帰っている 「ウチノシ」ト 「カエット」ル「ワ。(相手が年長の人でも、ごく近い人なら、その人が「帰ってキトルー？」と尋ねた場合の返事としては、こう言う。) / 「カエッテキテマス」ワ。(一般的にはこう言う。) 《主人の場合はもちろん自分の子供などを主語とする場合には、敬語を使ってはおかしいという明確な意識がある。》
- B 主人はもう帰っています 「カエッテオリマス。《補足。主人でなく、たとえば自分の舅の在否を、舅の兄弟の誰かから尋ねられたときは、お父さんはカエッテオイナサルとか、カエッテミエマスとか言う。舅の兄弟という一世代上の間柄に対しては、特別な配慮がなされるようである。》

### 3. 丁寧表現

- (30) A 行くよ 「ヤッテモラウ」ワ。 / 「イク」ワ。(ごく近い間で。)   
 B 行きます 「ヤッテモライマス」ワ。
- (31) A 寒いね キョーワ サ「ム」アス「ナ」ー。 / 「ヒヤカ」アス「ナ」ー。 / 「サ」ブイ「ナ」ー。(ごくごく親しい間で。)   
 B 今日は寒いね キョーワ サ「ム」アス「ナ」ー。 / 「ヨ」ー ヒエマス「ナ」ー。   
 C 今日は寒いですね キョ「ー」ワ 「サ」ムイ 「コ」トデス「ナ」ー。 / オサム「ー」ゴザイマス。(畏まった挨拶。) 《このCの場合には、なぜかサムアスは相応しくない。》
- (32) A 居るよ 「ウ」ン、「オ」ル「ワ」。   
 B 居ます 「ハ」イ、「オリマス」。
- (33) A よかったねえ 「ヨ」カッタ「ナ」ー。「ゲ」ンキニ ナ「ラレ」テー。   
 B よかったですねえ 「ヨロシ」アシタ「ナ」ー。   
 C よかったですねえ 「ヨロシ」アシタ「ナ」ー。
- (34) A そうか 「ソ」ー「オ」。(「ソーカ。」は孫などには言うが、友人に対しては言わない。)   
 B そうですか 「ソ」ーデス「カ」。 / 「ソ」ーデス「ナ」ー。   
 C そうですか 「ア」ー、「ソ」ーデス「カ」。 / 「ア」ー、「ソ」ーデ「ス」ー (この方が丁寧な感じ。)

### 4. 人間関係に応じた待遇表現

#### 4-1 特定表現の待遇表現



(35) 「その角を曲がって右へ行くと 「ソノ」 カ「ド」オ 「チョッ」ト 「ミギ」  
「ー」 「マガンナ」サルト 「ヨロシ」ー「ニ。／ソコ」 「マ」ガッテ  
「ソッチ」ー 「イッテモラウト ヨロシ」ーニ。

(36) とんでもない 「ソソ」ナン ワタ「シ」ト 「チャウ」ワ。(トンデモゴザイ  
マセンは言わない。)

#### 4-2 多人数場面の待遇表現

(37) 世話役を頼まれ、引き受ける 「ソソ」ナ「タ」イ「ソ」ーナ 「ヤ」ク ワタシ  
「ニ」ワ デ「キ」ヘンワ。(頼まれたとき謙退の情を述べる。)/ワタ  
シ「デ」 エー「ヤ」ロカー。(逡巡しているとき。)/ワタシ「デ」  
ヨー 「ヤラシテモラエルヤ」ロカー。(同前。)/「ソソ」ナラ 「マ」  
「ー」 「ヤラシテモライマス」ワ。(引き受けたとき。)

(38) 会合での挨拶 エライ 「サンカ」シャガ ス「ク」ナ「イ」ノデ ナル「ベ」ク  
「ゴツ」ゴ「ー」 ツケテ ミ「ナ」サン ゴ「シュ」ッセキイタダキタ「イン」  
デス「ワ」。

(39) 1. お寺の住職さん (A) オ「ハヨ」ー「ゴザイマス。(B) 「ドチラ」エ  
オデカケデス「カ」。

2. 校長先生 (A) オハ「ヨ」ー「ゴザイマス。(B) ア「サ」ハ「ヨ」ー  
カラ オデカケデ「ス」ノヤ「ナ」。

3. 見知らぬ年配の男性 (こういう場合声をかけたりしない。もしすれば、オ  
ハ「ヨ」ー「ゴザイマス。くらいだろう。)

4. 見知らぬ年配の女性 上記3に同じ。

5. 顔見知りの年上の男性 オハ「ヨ」ーゴ「ザイマ」ス。(B) 「ト」ーカ  
ラ オデカケデ「ス」ノヤ「ナ」ー。(トーカラとは早くからの意。)  
《「疾うから」であろう。》

6. 顔見知りの年上の女性 上記5に同じ。

7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性 (挨拶せずに素通りする。)

8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性 (挨拶せずに素通りする。)

9. 同級生の男性 オハ「ヨ」ーゴ「ザイマ」ス。「ト」ーカラ ド「コ」イ  
ク「ノ」。

10. 同級生の女性 オハ「ヨ」ー。「チョ」ト ド「コ」イク「ノ」ー。「ト」  
ーカラ オメ「カ」シシテー。

11. 10歳ほど歳下の顔見知りの男性 オ「ハヨ」ー「サン。ドコイ」キ。(オハ  
ヨーサンは、サンがつくけれども歳下に対して言うことば。)(このオハ  
ヨーサンは、こちらから声をかける場合よりも、向こうから声をかけられ  
て応えるときに相応しいようである。)

12. 10歳ほど歳下の顔見知りの女性 上記 11 に同じ。
13. 近所の中学生の男の子 オハ「ヨ」ー。／オハ「ヨ」ー「サン。「キオ」ツケテ 「イキナ」ヨ「ー。
14. 近所の中学生の女の子 上記 13 に同じ。

### Ⅲ. 総括（まとめ）

- (1) 被調査者が女性で統一されていることが、この資料を大きく特色づけている。同じ三重県下でも、表現に性別がさほどに大きく反映せず、いわゆる敬語表現のごく簡略な方言もあるのに比すれば、当方言では、とくに女性の待遇表現が多種多様である。
- (2) 待遇表現の調査で直面する一つの課題は、個人差の幅をどう克服するかということであろう。家庭や学校や職場などの、その人が成育してきたことばの教育環境の違いが、敬語の運用において、また個々の事象の敬意度の認知において、かなりな違いを見せることになる。
- (3) 人びとの、個々の事象の敬意度の認知において、比較的はっきりしているところと不分明なところとがある。これが待遇表現の実際ではないかと言いたいほどである。が、これは分析不能を意味するものではなく、分析未到を意味するのであろう。
- (4) 尊敬表現法のうち、オ～ニナル式のものがおそらく最高位に立ち、～テミエル式のものに次ぐあたりは、比較的はっきりしていることであろう。～テミエルは、余所の人をも待遇する尊敬表現法である。土地人をこれで待遇するときは、余所の人並みに隔ての意識で待遇することとなるので、それだけ敬意が高く感じられるという次第なのであろう。
- (5) こちらから頼んだのでもないのに、あえて頼んだ結果の恩恵であるかのように言う表現、相手の存在や行為そのものがこちらには恩恵であると言いなす表現、要するに受惠の表現。これはなにも当方言に限らないことであるが、多彩な待遇表現法を運用する当方言に、あって当然の一注目事象である。上記の調査結果から抜き出そう。
- 2 家に居るか 「オット」クナサ「ル。——《居ておくれなさるか》
- 15 来ている 「キテモロト」ル。——《来てくださっている》
- 16 仕事している 「シテモロト」ル。——《してもらっている》
- 23 持ちましょう モタシテ「モライマス。——《持たせてもらいます》
- 24 お待たせしました マッテ「モ」ーテ スンマ「セ」ンダ。——《待ってもらってすみませんでした》
- 25 待っています マタシテ「モライマス。——《持たせてもらいます》
- 27 あげましょう 「モロト」ク「ナ」サ「ルー。——《貰っておくれなさる》
- 30 行くよ 「ヤッテモラウ」ワ。——《遣ってもらうわ。》

(さとうとらお)